

業 種	鉄道・軌道
取組分野	人材不足
テ ー マ	感染症のまん延時等に他職種職員を予備要員とする取組
取組の狙い	感染症のまん延時等においてクラスターが発生した場合に備え、当該部署の要員が一時的に不足する場合、他の職種に勤務している者で当該職種の経験者に補職辞令を発令するとともに予備要員として即応できるよう訓練を実施し、要員不足を補完できるようにする取組
具体的内容	<p>1. 実施の背景</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、国内においてまん延を繰り返しているが、他社において乗務区でクラスターが発生したために運転本数を制限せざるを得ない事態が生じた。</p> <p>これをきっかけに、当局において同様の事例が発生した場合、どのようにすれば運転を継続できるかについて検討を行った。</p> <p>2. 具体的取組内容</p> <p>他事業者の事例を参考に局内で検討を行った結果、駅係員のうち乗務経験者（動力車操縦者免許受有者）に補職辞令を発令し、即応予備要員として訓練を実施し、感染拡大に備えることとした。</p> <p>この他、補職辞令の発令までは行っていないものの、総合指令所職員（運転指令員、設備指令員）についても、他課にいる経験者を予備要員として確保し、応援が必要となった場合に備えて所要の訓練等について定めた。</p>
取組の効果	当初、感染などにより出勤できなくなる運転士が1割に達した場合に、減便等を行う計画としていたが、即応予備要員を確保したことにより、出勤できなくなる運転士が2割程度までなら運行に大きく影響しない計画を立案することができた。
事業者名	仙台市交通局 鉄道管理部 安全推進課 (連絡先：022-712-8436)